

【基本方針】

北九州ロボットフォーラムは、産学官で構成する北九州市のロボット産業振興のためのプラットフォームとして下記の活動を行う。

- ①導入可能なロボットやロボット技術の研究開発支援
- ②開発・実証段階を経たロボットについての実用化・事業化支援
- ③人材育成の推進と情報発信・交流の促進

【平成 25 年度事業】

1 会議の開催

(1) 総会の開催

平成 25 年 6 月 12 日(水) 西日本総合展示場

(2) セミナーの開催

総会、産学連携フェアに併せて、ロボットや関連技術に関するセミナーを開催する。

2 研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進する。ユーザーとのマッチングや国等の研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行う。

(1) 市内発ロボット創生事業

北九州ロボットフォーラムとの連携を深めるため、開発テーマを広く北九州ロボットフォーラムの会員からも募集する。北九州市内でのロボットニーズ調査から試作品づくり、事業化支援までを、トータルにサポートすることにより、新たなプロジェクトの立上げやニーズに応じた開発を支援する。

(2) 助成プロジェクトの立ち上げ支援

市内外、企業・大学を問わず助成プロジェクトの申請支援や実施体制形成に関する支援活動を実施する。

(3) RT 導入支援センター(仮称)の立ち上げ

市内企業がロボット導入する際に必要となるエンドエフェクター等、ロボットへの付加技術およびロボット周辺技術の開発支援を行う(仮)RT 導入支援センターの立ち上げを行う。

3 実用化・事業化支援

これまで北九州ロボットフォーラムおよび(公財)北九州産業学術推進機構と連携して試作したロボットの実用化へ向けた課題解決や事業化への支援を実施する。支援対象のロボットは以下のとおり。

- ・下肢患者・障害者のための在宅用歩行訓練ロボットの実用化支援
- ・静脈血栓症予防のための小型下肢運動補助ロボットの実用化支援
- ・低コスト空港内手荷物カートの実用化支援
- ・卓上型医療用使用済薬剤自動識別ロボットの実用化支援
- ・もぐりんこ新機種機能向上(㈱石川鉄工所製品化済)

4 人材育成の推進

学研都市の大学・大学院生を対象としたものづくり力の強化と幅広い人材育成を行うことを目的に、学生主体による開発・ものづくりプロジェクトを支援する「ひびきの高度ものづくり実践人材育成事業」に取り組む。具体的な支援活動として、プロジェクト採択テーマへの助成や進捗管理、講習会や工場見学の企画・運営等を行う。

また、社会人を対象にして、ロボットの活用全般が修得できるロボット道場(仮称)を立ち上げる。企

画・運営は(仮)RT 導入支援センターが行う。

5 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報や北九州ロボットフォーラムの活動を積極的に発信する。

(1) 展示会の開催・共催

6月12日(水)～14日(金) ロボット産業マッチングフェア北九州 2013(西日本総合展示場)

10月26日(土)～27日(日) 水中ロボットフェスティバル(日本サバイバルトレーニングセンター他)

(2) 展示会への出展

6月12日(水)～14日(金) ロボット産業マッチングフェア北九州 2013(西日本総合展示場)

10月23日(水)～25日(金) 第13回産学連携フェア(北九州学術研究都市)

11月6日(水)～9日(土) 2013国際ロボット展(東京ビッグサイト)

(3) 北九州ロボットフォーラムのPRの推進

各展示会や会議等への出展のほか、ホームページやニュースレター(3回発行/年)による情報発信により、市内外に広く北九州ロボットフォーラムの活動を発信する。

以上